

路政關係參考判例(二)

高坂孝三

○收用地外ニ在ル浴場、煙突等ノ改修不能等ト當該浴場

ノ移轉

浴場及其ノ煙突ノ存在スル區域以外ノ土地ヲ收用スヘキ場合ニ於テハ收用ニ因リ該煙突ハ改修力不能又ハ巨額ノ費用ヲ要スルニ至ルモ浴場ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス
(大正十四年第九十九號)
(昭和二年七月十四日宣告)

○收用當時收用地區外ニ在ル建物ノ移轉

土地收用ノ場合ニ於テ全ク收用スヘキ土地ノ區域外ニ在ル建物ハ假ニ警視廳令上之ニ附屬設備ヲ爲スヘキ義務アリ又其ノ命令ヲ受ケタリトスルモ收用當時之ヲ收用スヘキ土地ノ區域内ニ設ケ在ラサリシトキハ該建物ハ土地收用法第五

十一條ニ該當セサルモノトス

(大正十四年第九十九號)
(昭和二年七月十四日宣告)

〔判決理由〕

原告ハ警視廳令浴場取締規則ニ依レハ浴場ニ

置スル場所ナキニ至リタルヲ以テ本件浴場建物ヲ移轉スル

ハ客用便所ノ設置絶對ニ必要ナリ然ルニ收用ノ結果之ヲ設

ノ必要アリ從テ之カ移轉料ノ補償ヲ受クヘキモノナリト云

フモ土地收用法第五十一條ニ依レハ土地收用ノ場合ニ於ケル移轉料ノ補償ハ收用スヘキ土地ニ在ル物件ニ付テノミ之ヲ爲スヘク唯物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サ

レハ從來用ヰタル目的ニ供スルコト能ヘサル場合ニ限り所有者ハ收用スヘキ土地ノ區域外ニ在ル部分ヲモ併セテ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス而シテ其ノ所謂分割ヲ來タスヘキ物件ハ收用當時現存セルモノニ限ルノ注意

ナリト解スルヲ相當トス然ルニ本件浴場ハ全ク收用スヘキ

(昭和二年第七十一年九月二十二日宣告)

土地ノ區域外ニ在リテ收用スヘキ土地ト關係ナク其ノ附屬
客用便所ハ大正十四年七月十七日ノ收用當時ニ於テハ收用

スヘキ土地ノ區域内ニ之ヲ設置シアラサリシモノナルヲ以
テ假令大正九年警視廳令浴場取締規則ニ依リ之カ設置ノ義

務アリ且大正十三年六月三十日迄ニ之ヲ設置スヘキ旨ノ命

令ヲ受ケタリトスルモ之ヲ收用スヘキ土地ノ上ニ在ル物件

ト云フヲ得ス從テ本件浴場ハ土地收用法第五十一條ニ該當
セサルコト明瞭ニシテ原告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

○土地收用法第二十四條ニ依ル公告ト土地收用事業ノ記載

土地收用法第二十四條ニ依ル公告ニ土地收用ノ事業ノ記載

ナキモ起業者ト土地所有者トノ間ニ協議ヲ爲シタル事實及

同法第二十三條ニ依リ起業者カ土地所有者等ニ對シ通知ヲ

爲シタル事實アリテ土地所有者等ニ於テ自己ニ關係アル土

地收用申請ニ係ル書類カ村役場ニ於テ縦覽ニ供セラレ居ル

コトヲ知リ得ヘキ場合ニ於テハ右公告ハ有効ナリトス

○行政訴訟ヲ許ササル事項

道路鋪裝延期工事費負擔ノ豫告通知ニ對シテハ行政訴訟ヲ
提起スルコトヲ得ス (大正十五年第三十一號)

(昭和二年十二月二十二日宣告)

○道路ノ鋪裝ト沿道土地ノ利用價値トノ關係

道路鋪裝ニヨリ交通ノ利便ヲ増進スルトキハ沿道附近土地
ノ利用價値モ増進スルコトハ通常ノ狀態ナリトス

(大正十五年第三十一號)

(昭和二年十二月二十二日宣告)

(同趣旨、昭和七年五月二十七日宣告、同四年第二百二十四號
事件判決)

○關係人トノ協議ノ欠缺ト所有者ヨリノ異議

起業者カ關係人ニ對シテ爲ス協議カ欠缺セリトスルモ當該

關係人ニシテ異議ナキ以上土地所有者ヨリ其ノ違法ヲ理由

トシテ土地收用ノ裁決ノ取消ヲ求ムルコトヲ得サルモノト

ス (昭和二年第二百三十三號)

(同三年二月十六日宣告)

〔判決理由〕原告ハ起業者カ關係人ト決定協議ヲ爲スニ當リ本件收用地ノ三番抵當權者及貸借權者トノ協議ヲ履行シ居ラサルニ拘ラス被告カ裁決ヲ爲シタルハ違法ナリト主張スルモ其ノ主張ヲ認ムヘキ何等ノ證據ナキノミナラス假ニ原告主張ノ如キ事實アリトスルモ關係人ニ對スル協議ノ欠缺ニ對シテハ當該關係人ノミ異議ヲ述ヘ得ルモノナルヲ以テ該關係人ニシテ異議ナキ以上土地所有者ヨリ其違法ヲ主張シ得ヘキモノニ非ス從テ之ヲ理由トシテ土地所有者タル

原告ニ對スル裁決ノ取消ヲ求ムル原告ノ主張ハ理由ナシ

○收用前ヨリ起業者力占有使用セル土地ニ對スル收用ノ裁決

起業者カ收用スヘキ土地ヲ其ノ收用以前ヨリ占有使用シ居

リタリトスルモ該土地カ收用當時起業者以外ノ者ノ所有ニ屬シ且起業者ヨリ其ノ收用ニ關スル申請アリタルトキハ該申請ニ基キ收用審査會カ爲シタル該土地收用ノ裁決ヲ違法

ナリト云フヲ得ス

(昭和三年二月十六日宣告)

〔判決理由〕原告主張ノ第一點ハ起業者カ本件收用地ヲ收用以前ヨリ無斷ニテ占有使用シ原告ニ損失ヲ被ラシメタルカ故ニ被告カ起業者ノ申請ニ基キ右土地ノ收用ヲ裁決シタルハ違法ナリト云フニ在ルモ該土地カ收用當時原告ノ所有ニ屬シ起業者ヨリ其ノ收用ニ關スル申請アル以上假ニ原告主張ノ如キ事實アリトスルモ之ヲ以テ被告カ爲シタル收用ノ裁決ヲ違法ナリト云フヲ得ス

○土地收用ニ際シ所有者以外關係人トノ協議

起業者カ土地所有者ニ對シ適法ニ協議ヲ爲シタル以上ハ關係人ニ對シ協議ヲ爲ササリシトスルモ之ヲ以テ所有者ヨリ

該土地收用ノ裁決ノ取消ヲ求ムル理由ト爲スコトヲ得ス

(大正十五年第八十一號)
(昭和三年二月十六日宣告)

〔判決理由〕原告主張ノ第六點ハ鐵道省千葉改良事務所長ハ關係人天田里んニ對シ非關係人トシテ協議シタルモ關係人トシテ協議ヲ爲シタルコトナキヲ以テ本件土地ノ收用及殘地ノ損失補償ノ裁決ハ適法ノ協議ヲ經サル土地ニ關スル

モノニシテ違法ナリト云フニ在ルモ乙第二號證ニ依レハ抵當權者天田里んニ對シテ協議シタルコト明ナルノミナラス假ニ協議ナシトスルモ土地所有者タル原告ニ對シ適法ニ協議シタルコト前説明セル如クナル以上同人ニ對スル協議ノ欠缺ヲ以テ原告ニ對スル本件土地收用ノ裁決取消ヲ求ムル理由ト爲スコトヲ得ス

○起業者カ土地所有者ニ對シ協議ヲ爲ササルモ所有者ヨリ何等申立ナキ場合ノ裁決

〔判決理由〕原告主張ノ第八點ハ收用土地ノ地目ハ補償金額ニ影響アリ然ルニ裁決書中本件收用土地ノ地目ヲ土地臺帳ノ如ク表示シ土地ノ現況ニ相當スル表示ヲ爲ササルモ之ヲ以テ裁決ヲ違法ナリト云フヲ得ス（大正十五年第八十一號）

〔判決理由〕原告ハ起業者カ原告ニ對シテ爲シタル法定協議書ハ原告ノ住所ニ非サル東京府豊多摩郡千駄谷町大字原宿二百七十一番地ニ送達セラレ原告ハ昭和二年九月十七日即チ起業者カ同年九月十三日ニ爲シタル收用裁決申請後ニ所有者カ收用ニ因リ現實ニ受クル損失ヲ標準トシテ決定ス同番地居住者ヨリ之ヲ受領シタル次第ナルヲ以テ起業者カヘキモノニシテ地目ノ表示ハ單ニ收用地ノ該當位置區域ヲ

明瞭ナラシムルモノニ過キス從テ裁決書ニ收用土地ノ地目ヲ土地臺帳ニ記載ノ如ク表示シタルハ相當ニシテ之ヲ違法ナリト云フヲ得ス

〔判決理由〕原告主張ノ第八點ハ收用土地ノ地目ハ補償金額ニ影響アリ然ルニ裁決書中本件收用土地ノ地目ヲ土地臺帳ノ如ク表示シ土地ノ現況ニ相當スル表示ヲ爲ササルハ違法ナリト云フニ在ルモ補償金額ハ地目ノ如何ニ拘ラス土地所有者カ收用ニ因リ現實ニ受クル損失ヲ標準トシテ決定ス同番地居住者ヨリ之ヲ受領シタル次第ナルヲ以テ起業者カヘキモノニシテ地目ノ表示ハ單ニ收用地ノ該當位置區域ヲ

ク違法ナルニ拘ラス被告カ之ニ付裁決シタルハ違法ナリト
云フモ原告カ昭和二年九月十七日ニ該協議書ヲ受領シタル
コトヲ認ムヘキ何等證據ナキノミナラス原告カ收用審査會

ニ意見書及意見書追補ヲ提出シタルモ此ノ點ニ何等ノ申立
ヲモ爲サルニ依リ審査會カ起業者申立ノ如ク適法ノ手續ヲ
履ミタルモノト認メテ爲シタル本件收用裁決ハ違法ナリト
云フヲ得ス

○收用裁決書ノ送達ノ遲延

裁決書ノ送達ハ地方長官ニ於テ收用審査會ヨリ報告ヲ受ケ
タルトキ爲スヘキモノナルヲ以テ裁決ニシテ適法ニ爲サレ
タル以上其ノ送達カ遲延シタリトスルモ之ヲ以テ該裁決ヲ

取消スノ理由ト爲スコトヲ得ス (昭和二年第二百三十三號)

ノ要件

道路法第三十九條ニ依リ道路管理者タル札幌市長ノ爲シタル
ル受益者負擔金賦課處分ニ對シ提起スル行政訴訟ハ同法第
五十八條ニ依リ提起スヘキモノニシテ其ノ處分ヲ爲シタル
市長ヲ經由シ直接上級行政廳タル北海道廳長官ニ訴願シ其
ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ提起スルヲ得ス

(昭和三年六月二日裁決)

○土地收用ト殘地ノ損失補償

〔判決理由〕原告ハ被告カ原告ニ對シ本件收用時期……以
前ニ裁決書ヲ送達セサルニ因リ本件ノ收用裁決ハ違法ナリ
ト云フモ收用審査會ノ裁決書ノ送達ハ地方長官ニ於テ收用
審査會ヨリ報告ヲ受ケタルトキ之ヲ爲スヘキモノナルコト

地自畠ナルモ別莊敷地トシテ適當ナル地位ニアル土地ノ一
部ヲ收用シ殘地ノ利用價値ヲ減少シタルニ拘ラス殘地ニ對
スル損失補償ヲ排斥シタルハ不當ナリ

(昭和三年七月十九日宣告)

〔判決理由〕本件係争地ハ湯河原温泉町迄ノ距離十五町内

ニ關シテハ行政訴訟ヲ許ササルノ法意ナリトス

外ノ所ニ在リ北西山ニ接シ東南海ニ面シ別荘地トシテ適當

(昭和四年五月五日裁決)

ノ地位ニ在ルコトヲ認メ得ヘシ而シテ……本件係争地ハ土

地收用前ニ於テハ四百五十八番(註、一部分ナリ)ハ反別七

丈

畝一十三步外畦畔一畝步、四百五十七番ハ反別五畝步外畦

道路法其ノ他法律勅令中市道確設竝側溝工事促進ヲ求ムル

畝十八步ニシテ四百五十八番ハ北西方ニ向ツテ十一間八分

行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ

ニ付約三間ノ勾配ヲ爲シ其ノ東南方ニ於テ四百五十七番ト

町村道管理者ヲシテ其ノ管理ニ屬スル道路ヲ改修セシムル

約三尺五寸ノ高低ノ差ヲ以テ接續シ兩地合シテ長サド幅ト

コトヲ求ムル行政訴訟ハ道路法其ノ他法律勅令中之カ提起ヲ許シタル規定ナシ

大差ナキ多邊方形ヲ爲セル一反二畝二十三步外畦畔一畝十

(昭和四年五月七日裁決)

八步ノ土地ナリシニ本件收用ニ因リ其ノ殆ント中央ヨリ東

地方鐵道法第十九條第一項第一號ノ解釋

北ノ部分ヲ失フコトト爲ルカ爲殘地ハ不整ナル長方形ヲ爲

適用スヘキモノニシテ地方鐵道業者カ同法第十四條ニ依リ

セル六畝餘歩ノ土地ト爲リ爲ニ著シク其ノ利用價値ヲ減少

工事施行ノ認可申請期限迄ニ認可ヲ申請セサル場合ニノミ

シタルモノト認ム然レハ被告カ原告ノ請求ニ係ル右殘地ニ

生シタル損失ノ補償ヲ排斥シタルハ土地收用法第四十九條ニ違反セルモノトス

○行政訴訟ヲ許ササル事項

土地收用法第八十一號第二項ハ土地收用シ得ル事業ノ認定

(昭和四年五月五日裁決)

○期間伸長申請ノ拒否處分ト營業免許ノ取消

地方鐵道法第十四條ニ依ル期間伸長ノ申請ヲ拒否スル處分
ハ明治二十三年法律第百六號ニ所謂營業免許ノ取消ニ關ス
ル事件ニ該當ス
(大正十三年第百五十八號)
(昭和四年二月二十日宣告)

○土地收用法第七條ニ所謂土地ニ關入ル所有權以外ノ權利

内閣ノ認定ヲ受ケタル事業ノ起業者カ買受ケタル該事業ニ
要スル土地ヲ或ル時期迄從前通り使用スル賣渡人ノ權利ハ
土地收用法第七條ニ所謂土地ニ關スル所有權以外ノ權利ニ
該當スルモノト解スルヲ相當トス從テ右土地ノ上ニ在ル地
上物件ノ移轉ニ關シ賣渡人ト起業者トノ間ニ契約カ存スル
ト否トニ拘ラス該權利ハ土地收用法ニ依リ收用シ得ルモノ
トス
(昭和三年第百五十八號)
(同四年七月十八日宣告)

〔判決理由〕按スルニ原告ハ參加人ニ賣渡シタル大阪府北
河内郡守口町大字守口三番地ノ四宅地ニ其ノ建物ヲ所有セ
ルコト、地上物件ノ移轉料ニ付テハ後日協定スヘク右移轉
料支拂迄ハ原告ヲシテ該土地ヲ從前通り使用セシムルコト

○期限付權利ノ收用

ノ約諾ノ下ニ原告カ該土地ヲ使用シ居リタルコト及該土地
ハ軌道敷設事業ニ要スルモノニシテ内閣ノ認定ヲ受ケ且大
阪府知事ノ收用土地細目公告中ニ包含セラルモノナルコ
トハ當時者間争ナキ事實ナリ而シテ右移轉料支拂迄原告カ
右土地ヲ從前通り使用スル權利ハ土地收用法第七條ニ所謂
土地ニ關スル所有權以外ノ權利ニ該當スルモノト解スルヲ
相當トスルカ故ニ起業者タル參加人ニ於テ軌道敷設ノ爲メ
必要アル以上土地收用法ニ依リ之ヲ收用シタルハ違法ナリ
ト云フコトヲ得ス原告ハ右地上物件ノ移轉ニ付テハ參加人
ト原告トノ間ニ移轉契約カ土地賣買當時ニ於テ成立シ居リ
唯其ノ金額カ具體的ニ明示セラレサリシニ過キサルモノナ
ルヲ以テ協議不調ノ場合ニ適用スヘキ土地收用法ヲ本件ノ
場合ニ適用シタルハ違法ナリト主張スルモ收用當時ニ於テ
右權利カ存在スル以上原告ノ所謂地上物件ノ移轉契約カ成
立シ居リタルト否トニ拘ラス土地收用法ニ依リ該權利ヲ收
用スルヲ妨ケサルモノトス

期限付ノ権利ト雖其ノ期限到来以前ニ内閣ノ認定ヲ受ケタル事業ノ爲之ヲ消滅セシムル必要アルトキハ土地收用法ニ依リ之ヲ收用スルコトヲ得ルモノトス

(昭和三年第七月十八日宣告)

〔判決理由〕(前項判決理由参照)原告ハ斯ノ如キ使用權ハ移轉料支拂ノ時期又ハ參加人力該土地ヲ使用スル時期迄存在スルモノニシテ無期限ニアラス故ニ斯ノ如キ事業ニ對シテハ土地收用法ヲ適用スヘキモノニアラスト云フモ期限付ノ権利ト雖其ノ期限到来以前ニ消滅セシムルコトヲ要スル場合ニ於テ之ヲ收用スルハ違法ニアラス

○土地收用法第六十二條ニ依ル裁決ノ失効ト新申請ニ基ク當該権利ノ收用ノ裁決

或ル権利ニ付收用ノ裁決アリタルモ該裁決カ土地收用法第六十二條ニ依リ効力ヲ失ヒタルトキ更ニ新ナル申請ニ基キ該権利收用ノ裁決ヲ爲スハ違法ニ非ス

(昭和三年第七月十八日宣告)

○起業者ノ占有使用ノ有無ト土地收用

收用當時起業者以外ノ者ノ所有ニ屬スル土地ニシテ内務大臣ノ認定シタル事業ノ爲必要ナルモノハ起業者カ占有使用シ居ルト否トニ拘ラス之ヲ收用スルコトヲ得ルモノトス

(昭和三年第七月二十三日宣告)

〔判決理由〕原告ハ本件土地ハ收用前起業者カ占有使用シ居リタルモノナルヲ以テ之ヲ土地收用法ニ依リ收用シタル

ハ違法ナリ主張トスルモ起業者カ占有使用シ居ルト否トニ
拘ラス收用當時起業者以外ノ者ノ所有ニ屬スル土地ニシテ

ト論ヲ俟タサル所ニシテ該事業ニ付土地收用法ヲ適用シタ

ルハ違法ニ非ス然レハ此ノ點ニ付テモ原告ノ主張ハ理由ナ

内務大臣ノ認定シタル事業ノ爲必要ナルモノハ之ヲ收用シ

シ

得ルコトハ當裁判所ノ判例ノ示ス所ノ如シ(大正十五年第八
十一號)然レハ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

○當該土地ノ所有權ニ關スル民事訴訟ノ繫屬中ト土地收

用

○土地收用法ニ所謂起業者ノ意義

土地收用法ニ所謂起業者ハ内務大臣ノ認定ヲ受ケタル各箇
ノ事業ノ起業者ヲ指稱スルモノトス

(昭和三年第百九十四號)

起業者ニ於テ甲者ノ所有地ナルコトヲ認メテ收用ノ裁決申
請ヲ爲シ其ノ公簿上甲者ノ所有地ト爲リ居ルモノハ起業者
カ民事訴訟ニ於テ右土地ノ所有權ニ付争ヒ居ルト否トニ拘
ラス之ニ付收用ノ裁決ヲ爲スハ違法ニ非ス

〔判決理由〕原告ハ土地收用法ハ起業者カ事業完成以前ニ

(昭和三年第百九十四號)

適用セラルヘキ法規ニシテ本件參加人ノ如ク其ノ鐵道敷設
事業カ既ニ完成シ營業ヲ爲シ居ル者ハ起業者ト稱スヘキモ

ノニアラス單純ナル鐵道營業者ニ過キサルヲ以テ其ノ鐵道
事業ニ伴フ事業ト雖モ之ニ土地收用法ヲ適用スヘキモノニ
非スト云フモ土地收用法ニ所謂起業者ハ内務大臣ノ認定ヲ

受ケタル各箇ノ事業ノ起業者ヲ指稱スルモノナルカ故ニ本

件收用ノ裁決ハ其ノ効力ヲ發生セサルモノナリト主張スル

モ起業者ニ於テ原告ノ所有地タルコトヲ認メテ收用ノ裁決
件ニ於テ參加人ハ大宮西町停車場設置事業上起業者タルコ

申請ヲ爲シ其ノ公簿上原告ノ所有地ト爲リ居ル以上民事裁決

判所ニ於テ右土地ノ所有權ニ付争アルト否トニ拘ラス收用審査會カ之ニ付收用ノ裁決ヲ爲スハ違法ニ非ス

○公用ノ廢止ト取得時効

公用ノ用ニ供セラレタル土地ニ付テハ明確ニ其ノ公用ノ廢止アリタル場合ニ非サレハ取得時効ノ適用ナキモノトス

(大審昭和四年(オ)第二八九號)

〔判決理由〕按スルニ公用物殊ニ道路下水等ノ如ク公衆ヲシテ使用セシムル種類ノ公用物ニ付國家又ハ公法人公用廢止ノ意志ヲ表示スルニ當リテハ最モ明確ナルコトヲ要ス

從テ公用廢止ニ付テハ常ニ管理權ヲ有スル所ノ官公署ノ決定ヲ俟タサルヘカラス何等斯ル決定ノ明示セラルルコトナキニ拘ラス他人力單ナル事情ヲ綜合シテ國家又ハ公法人ニ公用廢止ノ意志アリタルモノトナスカ如キハ到底認容サル

ヘキ所ニ非ス然ルニ原審ハ本件土地カ從來國ニヨリ下水溝トシテ公用ノ用ニ供セラレタル事實ヲ認メ乍ラ其ノ後國ニ於テ暗黙ノ裡ニ其ノ公用廢止ノ意志ヲ表示シタルモノト認定シ以テ被上告人ノ本件土地ニ對スル時効ニ因ル所有權ノ

取得ヲ認メタルハ公用物ニ關スル法則ヲ誤解シテ適用セル

モノト云ハサルヘカラス尤モ公用物モ公用ニ供セラレ得ヘ

キ構造ヲ滅失セルトキハ之カ爲公用物タル性質ヲ喪失スル

場合存スヘシト雖原審ハ斯ノ如キ見解ニ立脚シテ判断セルモノニ非スシテ國ニ於テ本件土地ノ公用ヲ廢止スルノ意志アリタリト認メテソノ前提ノ下ニ該土地ニ付民法取得時効ノ規定ノ適用ヲ認メタルモノナルカ故ニ違法タルコトヲ免

レス

○土地收用補償金額ニ對スル不服ノ訴ノ相手方

國道ニ關スル事業ノ爲ニ收用セラレタル土地ノ補償金額ニ對スル不服ノ訴ハ國ノ行政機關タル府縣知事又ハ當該府縣ノ孰レヲ相手方トナスモ妨ナキモノトス

(大審昭和二年(オ)第六八七號)

〔判決理由〕土地收用法第八十二條ハ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ旨及該訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起起

スルコトヲ得サル旨ヲ定メタルニ止マリ其ノ所謂不服者トシテ右訴訟ヲ提起シ得ヘキ者ハ何人ナリヤ及該訴訟ニ於テハ何人ヲ以テ被告ト爲スヘキモノナリヤ明示セス即チ之ヲ明示セスト雖當該收用ニ於ケル被收用地所有者カ該訴訟ヲ提起シ得ヘキコトハ固ヨリ疑ナク其ノ被收用地所有者カ原告タル場合ニ於ケル該訴訟ノ被告カ之ニ對スル補償金支拂義務者タルヘキコトモ亦多ク論スルヲ須ヒス蓋前叙決定ニ付被收用地所有者ト相反ノ利害ヲ有スル者ハ之ヲ措テ他ニ復タ有ルコト無キヲ以テナリ而シテ道路法第十一條第七條第二十條ニ依レハ國道ハ國ノ營造物ニシテ國ノ行政機關タル府縣知事之カ管理者ト爲リ其ノ新築改築維持修繕ヲ爲スヘキモノナルコト明ナルヲ以テ國道ニ關スル事業ノ爲ニ土地ヲ收用セムトスル場合ニ於テハ右資格ニ於ケル府縣知事其ノ起業者タルヘキコト勿論ニシテ從テ該資格ニ於ケル府縣知事ハ被收用地所有者其ノ他關係人ノ受ケタル損失ヲ補償スヘキモノナルコト土地收用法第二條第十二條第四十七條第六十條第六十二條等ニ依リ明ナリトス然レトモ主

トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新築又ハ改築ニ要スルモノノ外國道ニ關スル費用ハ當該道路ノ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トスルコト道路法第三十三條第二項ノ明定スルトコロナルト共ニ國道ノ管理者カ府縣知事ナルコトハ前叙ノ如クナルヲ以テ前掲特殊ノモノヲ除クノ外國道ニ關スル費用ハ當該府縣ノ負擔タルヘキコト論ヲ俟タス而シテ右ノ規定ニ所謂公共團體ノ負擔トストハ公共團體ヲ以テ費用金ノ支拂ヲ受クヘキ權利者ニ對スル直接ノ支拂義務者ト爲スノ趣旨ニシテ之ヲ以テ管理者タル府縣知事即チ之ニ依リテ代表セラルル國ニ對スル義務者トナシ一旦公共團體ヨリ國ニ支拂ヲ爲サシメ更ニ國ヨリ如上權利者ニ對シテ支拂ヲ爲スコトヲ要スルカ如キ關係ヲ認メタルモノニ非スト解スルヲ相當トス又右規定ハ國道ニ關スル事業ノ爲ニスル土地收用ニ基ク土地收用法上ノ起業者ノ補償金支拂義務ヲ排除スルノ趣旨ニアラサルコト勿論ナレハ國道ニ關スル事業ノ爲メ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スル場合ニ於テハ起業者タル府縣知事即

チ之ニ依リテ代表セラルル國カ被收用地所有者ニ對スル補償金支拂義務者タルハ勿論公共團體タル府縣モ亦同様義務ナリト謂ハサルヲ得サルト共ニ前叙訴訟ニ於テ是等義務ヲ總テ共同被告ト爲スコトヲ要スト爲スノ理由存セサルヲ以テ被收用地所有者ヨリ前叙訴訟ヲ提起スルニ當リテハ

起業者タル國ノ行政機關タル府縣知事ヲ以テ被告ト爲スノ不可無キカ如ク公共團體タル府縣ヲ以テ被告ト爲スモ亦固ヨリ不可アルコト無シ必シモ前者ヲ以テ被告ト爲スヲ要セス又兩者ヲ以テ共同被告ト爲スノ要アルモノニ非ス今本件ハ土地收用法ニ依リ大阪市及神戸市間ノ國道改築工事ノ爲メ收用地トシテ公告セラレタル上告人所有地ニ對シ大阪府收用審査會ニ於テ與ヘタル補償金額ノ決定ニ對シ上告人ニ於テ不服アリトシテ提起シタル訴ナルコト上告人ノ趣旨ニ微シ顯然タルヲ以テ大阪府ヲ被告ト爲スモ亦毫モ妨クルトコロ無キコト前段説明ニ照シ明ナル所ナリトス然ルニ原審ニ於テ本訴ハ必ス大阪府知事ヲ以テ被告ト爲スコトヲ要スト爲シ依テ以テ上告人ノ請求ヲ斥ケタルハ畢竟法律ノ解

釋ヲ誤リ之ヲ不當ニ適用シタルモノト謂ハサルヲ得シテ論旨ハ孰レモ結局理由アリ原判決ハ破毀ヲ免レス從テ當院從來ノ判例（大正十五年（オ）第一七三號同年七月二十日判決）ハ之ヲ變更スヘキモノトス

○土地收用法第四十九條ト同法第四十一條

收用殘地ノ損失補償ニ付テハ收用審査會ハ土地收用法第十九條ノ規定ヲ同法第四十一條ニ從ヒ起業者土地所有者及關係人ノ申立タル範圍内ニ於テ適用スヘキモノニシテ其ノ適用カ申立ノ範圍内ニ於テ違法ナラサル限り裁決ヲ違法ナリト云フヲ得ス（昭和三年第二百八十九號）

〔判決理由〕本件土地收用ノ殘地補償ニ付按スルニ本件土地收用ノ起業者カ收用殘地ニ關スル損失ノ補償ニ付申立ヲ爲サス原告等亦右ニ關シ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサリシコトハ當事者間争ナキ所ナリ然ルニ斯ル場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ハ土地收用法第四十一條ニ依リ起業者土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコ

トヲ得サルニ因リ該損失ノ補償ニ付裁決ヲ爲スコトヲ得サ
ルモノナルコト當裁判所ノ屢判示シタル所ノ如クナルヲ以

テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ不當ナリ原告ハ土地收用法

第四十九條ニ基キ直接行政裁判所ニ救濟ヲ請フモノニシテ

同條ハ意見書ヲ提出シタルト否トニ關係ナシト主張スルモ

收用審査會ハ土地收用法第四十九條ノ規定ヲ同法第四十一

條ニ從ヒ起業者土地所有者及關係人ノ申立タル範圍内ニ於

テ適用スヘキモノニシテ申立ノ範圍内ニ於テ其ノ適用力違

法ナラサル限り該裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得サルニ依リ右

原告ノ主張ハ理由ナシ（註 昭和六年十二月三日宣告、同四

年第二百二十九號事件判決ニヨリ變更セラル）

○府縣知事力起業者トシテ爲シタル土地收用

府縣道ノ改修ニ付費用負擔者タル公共團體カ府縣道改修ニ

要スル土地其ノモノヲ提供セサル場合ニ於テ府縣知事カ起

業者トシテ土地收用ニ關スル法定ノ手續ヲ爲シタルハ起業

者タル國ノ行政廳トシテ爲シタルニ外ナラス之カ爲該收用

ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス（昭和三年第百八十九號
同五年二月二十日宣告）

〔判決理由〕市外ニ於ケル府縣道ノ新設、改築、修繕及維

持ハ國ノ行政廳タル府縣知事ノ管理ニ屬シ其ノ費用ハ該府

縣知事ノ統轄スル公共團體タル府縣ノ負擔タルコトハ道路

法第十七條及第三十三條第二項ニ依リ明ナリ而シテ本件道

路改修事業カ東京府知事ノ管理ニ屬スル府道ノ改修ニシテ

該知事自ラ改修工事ヲ行フモノナルコト當事者間等ナキ所

ナリ而モ本件ニ於テ費用負擔者タル東京府カ該事業ノ爲必

要ナル土地其ノモノヲ提供スルモノニ非サルカ故ニ本件土

地收用ニ付土地收用法ニ依リ起業者タル者ハ國ナリト解セ

サルヲ得ス然レハ本件土地收用ニ付東京府知事カ起業者ト

シテ法定ノ手續ヲ爲シタルハ畢竟起業者タル國ノ行政廳ト

シテ爲シタルモノニ外ナラス從テ本件土地收用ノ裁決ハ之

カ爲何等違法アリト謂フヲ得ス

○土地調查手續上ノ違法ト收用審査會ノ裁決ノ効力

裁決ニ影響ナキ土地調查手續上ノ違法ヲ理由トシテ裁決ヲ

違法ナリト爲スヲ得ス (昭和三年第二百八十九號)

〔判決理由〕原告ハ本件土地收用ニ關スル土地調査手續上
違法アリ從テ本件裁決ハ無効ナリト主張スルモ假リニ原告
主張ノ如キ違法アリトスルモ之ヲ以テ裁決ニ何等影響ヲ及
ホスモノト認ムルヲ得サルヲ以テ該主張ハ理由ナシ

○土地收用法第二十一條ニ依ル市町村長ノ立會及調書ノ

作成方

土地收用法第二十一條第二項ニ依ル市町村長ノ立會ハ現場

ニ於ケル調査ニ現場ニ立會フコトヲ要ス又同條ニ依ル調書
ハ現場ヲ調査シタル者カ自己ノ名義ヲ以テ作成スルコトヲ
要ス現場ニ立會ハサル市町村長カ立會人トシテ署名シタル
調書現場ヲ調査セサル府知事ノ名義ヲ以テ作成セル調書ハ

違法ナリ (昭和三年第二百八十九號)

テ署名シタルモノナルコト被告ノ爭ハサル本件調書ハ違法
ナリ又土地收用法第二十一條ニ依リ作成スル調書ハ現場ヲ
調査シタル者カ自己ノ名義ヲ以テ作成スヘキモノト解スヘ
キモノトス然ルニ本件調書ハ東京府知事カ其ノ所屬技術者
ヲシテ現場ヲ調査シ作成セシメタルモノナルコト被告ノ争
ハサル所ナルニ現場ヲ調査セサル東京府知事ノ名義ヲ以テ
作成セラレタルモノナルヲ以テ違法ナリ

○市町村長ノ立會及調書ノ作成ニ違法アル場合ト收用裁

決ノ効力

土地收用法第二十一條第二項ニ依ル立會及調書ノ作成ニ違
法アル調書ハ同條第三項ニ規定セル効力ヲ認メサルニ止
リ之カ爲直ニ土地收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

(昭和三年第二百八十九號)

○土地收用法施行令第三條第五號ニ所謂古墳墓

〔判決理由〕土地收用法第二十一條ニ依ル市町村長ノ立會
ハ現場ニ於ケル調査ニ現場ニ於テ立會フコトヲ要スルノ法
意ナリト解スヘク現場ニ立會ハサル吉野村長カ立會人トシ
ヲ要スヘキモノノ謂ナリ (昭和三年第二百八十九號)

○都市計畫ニ依ル土地收用補償金額ニ對スル不服ノ訴ノ相手方

都市計畫ニ依ル土地收用ノ補償金額ニ對スル不服ノ訴ハ都市計畫事業ヲ執行スル行政廳又ハ其ノ統轄ノ下ニアル公共團體ノ孰レヲ相手方ト爲スモ妨ケナキモノトス。

(大審昭和三年(大)第四〇八號
同五年二月三十日判決)

〔判決理由〕案スルニ土地收用法第八十二條ハ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル旨及し其ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得サル旨ヲ規定スルニ止リ何人カ其ノ訴訟ノ正當ナル當事者タルヘキヤヲ明示セスト雖其ノ訴訟ノ性質カ補償金額ノ決定ニ對スル不服申立ノ方法タル以上ハ補償金ノ支拂ヲ受クヘキ権利者及義務者カ互ニ相手方トシテ其ノ訴訟ノ正當ナル當事者タルヘキコト當然ナリト云ハサルヘカラス而シテ同法第四十七條第六十條ニ依レハ土地所有者及關係人ハ補償金ノ支拂ヲ受クヘキ権利者ニシテ起

業者ハ其ノ義務者ナルカ故ニ土地所有者カ原告トシテ右訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ起業者ヲ被告ト爲スヘキコト論ヲ俟タス然ルニ都市計畫法第十六條第一項ニ依レバ道路ニ關スル都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土地ハ之ヲ收用スルコトヲ得ヘク又同法第十八條第一項ニ依レハ右ノ土地收用ニ關シテハ同法ノ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ適用スヘキモノナルカ故ニ叙上説明シタル土地收用法ノ各規定モ亦總テ右ノ土地收用ニ適用アリ而シテ都市計畫法第五條同法施行令第一條ニ依レハ都市計畫事業ハ原則トシテ市ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スヘキモノナルカ故ニ右ノ土地收用ニ付テハ其ノ行政廳ハ土地收用法ニ所謂起業者トシテ土地所有者ニ對シ補償金支拂義務ヲ負擔シ從テ土地所有者ノ提起スル補償金額決定不服ノ訴訟ニ於テ被告タル適格ヲ有スヘキモノトス然ルニ都市計畫事業法第六條ニハ都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ其ノ執行者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔スヘキ旨ヲ規定シタリ此ノ規定ハ右ノ土地收用ニ付テハ起業者

タル行政廳ノ外ニ尙公共團體ニモ補償金ヲ直接土地所有者

其ノ他ノ権利者ニ對シ支拂ヘキ義務ヲ負擔セシムル趣旨ヲ

包含スルモノト解スヘク之ヲ以テ公共團體カ行政廳ニ對シ

補償金支拂義務アルコトヲ定メタルモノト解スヘキニ非ス

亦之ヲ以テ行政廳カ起業者トシテ補償金支拂義務アルコト

ヲ否定シタルモノト解スヘキニ非ス然レハ右ノ土地收用ニ

付テハ公共團體モ亦土地所有者ニ對シ補償金支拂義務ヲ負

擔シ從テ胃頭説明セル理由ニ依リ土地所有者ノ提起スル補

償金額決定ノ訴ニ於テ同シク被告タル適格ヲ有スヘキモノ

ト謂ハサルヘカラススクノ如ク道路ニ關スル都市計畫事業

ニ必要ナル土地ノ收用ニ付土地所有者ノ提起スル補償金額

決定不服ノ訴訟ニ於テハ事業執行者タル行政廳ヲ被告ト爲

シ得ヘク又其ノ事業執行ニ要スル費用ノ負擔者タル公共團

體ヲ被告ト爲シ得ヘキモノニシテ兩者ヲ共同被告ト爲ス必

要アリト爲スヘキ何等ノ理由ナキニ依リ其ノ執レカ一方ヲ

被告ト爲スヲ以テ足ルモノト解セサルヘカラス

○土地收用法第二十三條第二項ニ依ル通知ニ瑕疵アリタ

ル場合ノ効果

時期ヲ失シタル土地收用法第二十三條第二項ニ依ル通知ハ

適法ナルモノト謂フヲ得サルモスノ如キ瑕疵アルノ故ヲ以

テ全然裁決ヲ無効ナラシムルモノト解スヘキニ非スシテ斯

ノ如キ瑕疵アル通知ヲ受ケタル者ハ縱令土地收用法第二十

五條ニ依リ意見書ヲ差出ササリシトスルモ尙其ノ意見ヲ行

政訴訟ニ於テ申立ツルコトヲ得ルモノト解スルヲ相當トス

(昭和四年三月四日宣告)

(判決理由) 原告名兩ハ土地收用法第二十三條第二項ニ依

ル本件通知ハ時期ヲ失シ原告兩名ヲシテ同法第二十五條所

定ノ期間内ニ意見書ヲ提出スルコトヲ得サラシメタルモノ

ナルニ拘ラス被告カ本件裁決ヲ爲シタルハ違法ニシテ無効

ナリト主張スルニ依リ之ヲ案スルニ本件裁決ノ申請カ昭和

四年二月十五日ニシテ右申請ニ對スル公告カ同月二十七日

ナルコトハ…明ナリ而シテ右書類ノ公衆縱覽期間ハ同年

三月六日ヲ以テ満了スヘク而モ本件裁決ハ同年三月二十八

日ナルコトハ争ナキ所ナリ然ルニ原告兩名ニ對スル通知ハ

何レモ同年二月二十八日發送セラレ同年三月一日ニ送達セ
ラレタルコトハ……明ナリ而シテ同法第二十三條第二項ニ
ハ「收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土
地所有者及關係人ニ通知スヘシ」トアルヲ以テ前記ノ如キ
時期ニ於ケル通知ハ適法ナリト謂フヲ得サルモ斯ノ如キ瑕
疵アルノ故ヲ以テ全然裁決ヲ無効ナラシムルモノト解スヘ
キニ非シテ斯ノ如キ瑕疵アル通知ヲ受ケタル者ハ縱令土
地收用法第二十五條ニ依リ意見書ヲ提出セサリシモノトス
ルモ尙其ノ意見ヲ行政訴訟ニ於テ申立ツルコトヲ得ルモノ
ト解スルヲ相當トス從テ原告兩名ノ此ノ點ニ關スル主張ハ
其ノ理由ナシ

○收用審査會ノ裁決前消滅ニ歸シタル土地賃借權ノ收用

裁決

土地賃貸借契約解除ノ意志表示ニ依リ土地賃借權カ收用審
査會ノ裁決前已ニ消滅ニ歸シタルモノニ付テハ之カ收用ノ
裁決ヲ爲スヘキニ非ス
(昭和四年第三百四十五號)
(同年三月四日宣告)

〔判決理由〕原告青木祇雄ハ福井市日ノ出下町百五十七番

○土地賃借權損失補償金額ノ決定ニ對スル不服

地及百二十三番地ノ五ニ賃借權ヲ有シタル處損失補償金ノ
決定ナク收用ノ裁決ヲ受ケ右賃借權ヲ傷害セラレタルト主
張スルニ依リ之ヲ案スルニ右地所ハ福井停車場擴張ノ用地
トシテ昭和三年三月鐵道省ニ買收セラレタルニ依リ賃貸人
タル訴外松本康莊ヨリ之ヲ理由トシテ昭和四年二月二十二
日原告青木祇雄ニ對シ本件賃貸借契約解除ノ意志表示ヲ爲
シタルコトハ乙第七號證ノ一ニ依リ明ニシテ右解除ノ原告
ハ乙第七號證ノ二土地賃貸借證書中賃借ノ期間中ト雖賃貸
人ニ於テ必要ナル場合ハ何時ニテモ返地ノ要求ニ應スヘキ
コトヲ特約ストノ條項ニ該當スルヲ以テ右解除ノ意志表示
ハ有効ニシテ之ニ因リテ該賃貸借ハ本件裁決ノ時期タル昭
和四年三月二十八日(甲第一號證)以前已ニ消滅ニ歸シタ
ルモノトス故ニ乙第四號證ニ依リ明ナル如ク本件ニ於テ起
業者モ右賃借權收用ノ申請ヲ爲サヌ又甲第一號證ニ依リ明
ナルカ如ク被告モ之カ收用ノ裁決ヲ爲ササリシハ固ヨリ相
當ナリ

土地賃借権收回用ニ付損失補償金額ノ決定ニ對スル不服ハ當裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

(昭和四年第三百四十五號)

○意見書ノ不出ト出訴

土地所有者及關係人ハ土地收用法第二十五條ノ意見書ヲ提出セサル場合ト雖補償金額ノ裁決ニ對シ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ妨ケサルモノトス

(大審昭和四年(オ)第一九二六號)
同五年五月二十八日判決)

〔判決理由〕土地收用法第四十一條ハ收用審査會ノ爲シ得キ審査裁決ヲ限定シタルモノニ外ナラス即土地所有者及關係人ヨリ同法第二十五條ノ規定ニ基キ意見書ノ提出アリタル場合ニハ收用審査會ハ損失補償額裁決ノ關係ニ於テハ一面起業者ノ申立ニ拘束セラレ其ノ申立タル額ヲ下ルコトヲ得サルト同時ニ他面土地所有者及關係人ノ申立ニ羈束セラレ其ノ額ヲ超エサル範圍ニ於テノミ適當モ認ムル損失補

償額ヲ裁決シ得ル旨規定シタリト解スヘキモノトス此故ニ損失補償額ニ付起業者ノミノ申立アリテ土地所有者及關係人ヨリハ勿論土地所有者及關係人ニ對シ意見書提出スルコトハ敢テ右ノ出訴ヲ爲スノ妨トナラサルモノトス此ノコトハ同條ノ規定ハ土地所有者及關係人ニ對シ意見書提出ノ權能ヲ與ヘタルニ止マリ其ノ不提出ニ對シ何等失權ノ効果ヲ生セシムルノ趣旨ニ非サルコト文理上明ナルノミナラス同法第八十二條カ廣ク收用審査會ノ損失補償額決定ニ對シ不服アル者ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ許シ毫モ第二十五條ノ意見書ヲ提出セサル土地所有者及關係人ノ出訴ヲ制限スルトコロナキニ徵シ疑ヲ容レス

○工事竣工後ニ於ケル受益者負擔金ノ賦課(都市計畫事業ニ關ス)

内務大臣ハ都市計畫事業トシテ執行シタル工事ノ全部又ハ一部竣工シタル後ニ至リ已ニ竣工シタル部分ニ對スル工事

ノ費用ニ付遡及シテ受益者負擔金ヲ命スルコトヲ得

工事ノ費用ニシテ負擔義務アル國若ハ公共團體ニ於テ之ヲ

支拂ヒ受益者負擔金ヲ財源トシテ支辨スヘキ工事ノ費用ナ

キニ至リタル後ニ於テハ受益者負擔金ヲ徵收スルコトヲ得

サルモノトス
(昭和二年第二十二號)

○公債ニ依ル工事費用ノ支辨ト當該公債償還財源ノ爲メ

ニスル受益者負擔金ノ徵收(同上)

公債ニ依リ工事ノ費用ヲ支辨スルモノトシテ主務官廳ノ認

可ヲ經タル都市計畫事業ニ付既ニ公債ニ依リ工事ノ費用ノ

支辨ヲ了シタル後ニ於テモ其ノ償還財源トシテ受益者負擔

金ヲ豫定シタルト否トヲ問ハス右償還財源ト爲ス爲ニ受益

者負擔金ヲ徵收スルモノ違法ニ非ス
(昭和二年第二十二號)

○共有地ノ收用手續

一、兩名ノ共有ニ屬スル土地ノ收用ニ付起業者カ共有者ノ

可ヲ經タル立會ノ通知協議並收用審査會ニ裁決ノ申請ヲ

支辨ヲ了シタル後ニ於テモ其ノ償還財源トシテ受益者負擔

金ヲ豫定シタルト否トヲ問ハス右償還財源ト爲ス爲ニ受益

者負擔金ヲ徵收スルモノ違法ニ非ス
(昭和二年第二十二號)

一、兩名ノ共有地ヲ其ノ中ノ一人ノミノ單獨所有ニ係ルモ

ノトシ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ニ他ノ一人ノ權利ヲ

侵害シタルモノニシテ裁決中其ノ者ノ持分ニ關スル部分

ハ之ヲ取消スヘキモノトス

一、兩名ノ共有ニ屬スル土地ノ收用ニ付テ土地調書ヲ作成

スルニ際シ起業者カ共有者ノ一人タル甲ニハ立會ノ通知ヲ爲シタルモノ他ノ一人タル乙ニハ通知ヲ爲サス又右調書

ニ於テ右土地カ甲ノ單獨所有ニ屬スルコトヲ乙ニ於テ認

メタル旨ノ乙自身ノ記載ナキトキハ乙ハ土地收用法第二

十一條第三項ニ依リ異議ヲ述フルコトヲ得サルモノト爲

スヲ得ス

一、兩名ノ共有ニ屬スル土地ノ收用ニ付起業者カ共有者ノ

一人甲ニハ立會ノ通知協議並收用審査會ニ裁決ノ申請ヲ

爲シタルコトノ通知ヲ爲シタルモノ他ノ一人乙ニハ之等ノ

通知ヲ爲サリシ所之ニ關シ共有者兩名ハ何等ノ申出ヲ

爲サス又土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ノ提出ヲ爲

ササルモノ乙ハ右土地ノ收用ニ關スル裁決ノ取消ヲ求ムル

行政訴訟ニ於テ土地カ兩名ノ共有ニ屬スルコトヲ理由ト

シテ裁決ノ違法ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス

一、兩名ノ共有ニ屬スル土地ニ付テ收用審査會カ一人ノ單

獨所有ニ屬スルモノトシテ爲シタル裁決ニ於テ其ノ土地

ノ地上ニ在ル建物其ノ他ノ物件ノ移轉ニ關スル補償ノ裁

九年七月二十三日民事聯合部判決參照)

決ヲ爲スハ違法ニシテ取消スヘキモノトス

(昭和五年八月五日宣告)

○損失補償額ノ裁決ト通常裁判所ノ權限

收用審査會カ土地ノ損失補償金額中ニ其ノ賃借權消滅ニ對スル補償ヲ包含セシメテ裁決シタル場合ニ於テモ通常裁判所ハ右賃借權消滅ニ對スル相當補償金額ヲ確定スルノ權限ヲ有スルモノトス

(大審昭和五年(オ)第八六號)

〔判決理由〕按スルニ土地收用ノ結果收用者ノ被リタル損失ニ付一定ノ金額ヲ以テ其ノ補償ヲ得ムトスル請求ハ通常裁判所ノ權限ニ屬シ通常裁判所ハ土地收用法ノ規定ニ則リ因果關係ト被害ノ範圍トヲ包括シテ審理ヲ遂ケ補償金額ヲ確定スルノ全權ヲ有スルモノト解スヘキコト及土地收用ヨリ生スル損害ノ補償ハ包括的ニ其ノ範圍ヲ定ムルコトヲ以テ箇々ノ項目ニ付各別ニ之ヲ定ムヘキモノニ非サルコトハ當院ノ判例トスル所ナリ(大正七年(オ)第八百九十六號大正

本件ニ於テ上告人ノ請求原因トスル事實ハ神戸姫路電氣鐵道株式會社ヨリ上告人外二名ニ係ル土地收用及其ノ地上物件ノ移轉ニ關シ兵庫縣收用審査會ハ大正十二年七月二十日附裁決ニ依リ收用土地ナル大森廣治所有ノ姫路市驛前町字萬燈二百番ノ三宅地中收用面積九十坪七合三匁ニ對シ補償金額ヲ六千三百五十圓四十錢トシ又右地上物件タル上告人所有ノ建物及附屬設備等ニ對シ上告人ノ受クヘキ移轉料ヲ

金二千九百三十九圓四十六錢ト定メ而シテ右土地ノ上ニ上告人ノ有シタル賃借權ノ消滅ニ因ル損失ハ土地ノ損失ト各別ニ之ヲ見積り難キモノトシ其ノ補償ヲ土地ノ損失補償中ニ包含セシメテ決定シタレトモ右土地ノ所有者ハ土地ノ損失補償額ヲ不當トシテ増額請求ノ訴訟ヲ提起シタルヲ以テ上告人カ賃借權ノ消滅ニ對スル補償トシテ受クヘキ金額ハヨリ一部分ノ補償ヲ得ヘントスルモ到底相當額ノ補償ヲ得ル見込ナシ而シテ上告人ハ右賃借權ノ消滅ニ因リ金一萬一

千百二十三圓六十錢ノ損害ヲ被リタルノミナラス右物件ノ

ルモノトス

〔大審昭和五年(オ)第八六號〕
同五年九月十七日判決

移轉料モ過少ニシテ金千百二十三圓六十錢ノ不足アリ仍テ

右會社ヲ合併シタル被上告會社ニ對シ右各金額ノ支拂ヲ請
求スト云フニアリテ以上ノ請求中賃借權ノ消滅ニ對スル

補償ノ請求ハ兵庫縣收用審查會ニ於テ補償スヘキモノト裁

決シタル右賃借權ノ消滅ニ對シ一定ノ金額ヲ以テ補償ヲ得

ムトスルノミナテ斯同裁決カ土地ノ損失補償金額中ニ包含

セシメタル右賃借權消滅ノ補償額ヲ過少ナリトシ其ノ増額

ヲ求ムル趣旨ニ歸スルヲ以テ斯ル請求ハ通常裁判所ノ權限

ニ屬シ通常裁判所ヘ右賃借權ノ消滅ニ對スル補償金額カ士

地ノ損失補償金額中ニ包含セラレタルト否トニ拘ラス其ノ

相當補償金額ヲ確定スルノ權限ヲ有スルモノナルコト前説

明ノ理由ニ依リ明白ナリトス

○出訴期間經過後ニ於ケル不服ノ申立

土地收用損失補償金額決定ノ一部ニ對シ法定ノ期間内ニ通

ト土地收用法ニ所謂關係人

常裁判所ニ出訴シタル以上ハ右期間經過後ニ於テモ申立ノ

擴張ニヨリ他ノ部分ニ對スル不服ヲ主張スルコトヲ妨ヶサ

○借地借家臨時處理法第六條ニ該當スル權利ヲ有スル者

借地借家臨時處理法第六條ニ該當スル權利ハ昭和二年法律

第三十九號土地收用法中改正法律施行以前ノ土地收用法第

(註、前項判決理由參照)

モ之ニ依リ右補償金額決定ハ其ノ確定ヲ阻止セラルヘキヲ

補償ニ關スル部分ノミニ付不服ヲ述ヘタルニ過キストスル

以テ其後ニ於テモ不服ノ理由ヲ追加シテ其ノ請求ヲ擴張ス

ルコトヲ妨ヶサルモノト解セサルヘカラス

五條第二項ニ所謂收用スヘキ土地ニ關スル權利ト解スルヲ

相當トシ該權利ヲ有スル者ハ同法ニ所謂關係人ニ該當ス

前項ノ權利ヲ有スル者カ其ノ權利ノ法律上ノ解釋ヲ誤リ之

之カ爲該權利ヲ有スル者カ土地收用法ニ所謂關係人ニ該當

セサルニ至ルモノニ非ス
（大正十五年第二百七十八號）

〔参考〕借地借家臨時處理法第六條 大正十二年九月ノ震災ニ

因リテ滅失シタル建物ニ居住シタル者カ其ノ建物ノ敷地ノ上ニ

假設建築物ヲ築造シタル場合ニ於テ敷地ノ借主カ之ニ同意シタ

ルトキハ其ノ同意ニ付地主ノ承諾ヲ得サリシ場合ト雖地主ハ之

ヲ理由トシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス但シ裁判所ノ許可ヲ

得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

○他人ニ與ヘタル營業免許ノ取消ヲ求ムル行政訴訟（自

動車營業免許ニ關ス）

他人ニ對シテ營業免許ヲ與ヘタル事件ハ明治二十三年法律

第百六號ニ所謂營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル件ニ該當

セス
（昭和五年第三百三十三號）
（同六年一月十日裁決）

○自動車運輸營業免許ノ拒否

一定ノ路線又ハ區間ニ據ル自動車運輸營業願ニ對シテハ公

益ニ害アルノミナラス成業ノ見込確實ナラサル場合ニモ亦

免許ヲ與フヘキニ非ス
（昭和三年第一百二十二號）
（同六年一月三十一日宣告）

〔判決理由〕一定ノ路線又ハ區間ニ據ル自動車運輸營業願

ニ對シテハ公益ニ害アル場合ノミナラス成業ノ見込確實ナ

ラサル場合ニモ亦免許ヲ與フヘキモノニ非サルコト勿論ナ

リ而シテ原告ハ宅地五十二坪畑一段ニ畝七步原野五畝十四

歩木造平屋建住家一棟及定置漁業權ヲ有スルニ過キサルコ

トハ甲第三號證ニ依リ明ニシテ且漁業ハ成績不良ノ爲其ノ

生計ニ困難ヲ來シ居ルコトハ原告ノ自認スル所ナリ從テ原

告自身ノ資力ノミニヨリテハ自動車運輸營業成績ノ見込確

實ナリト認ムルニ由ナシ而シテ本件ニ付テハ其ノ他ノ方法

ニ依ル成業ノ見込確實ナリト認ムルニ足ル證據モ存在セサ

ルヲ以テ原告ノ出願ニ係ル自動車運輸事業ハ結局成業ノ見

込確實ナラサルモノト認ムルノ外ナシ從テ此ノ點ヨリ觀テ

被告カ原告ノ出願ヲ拒否シタルハ正當ニシテ原告ノ請求ハ理由ナシ

○裁決書暨本ノ送達書ノ宛名ニ誤アル場合

收用審査會ノ裁決書暨本ノ送達ニ付送達書ノ宛名ニ誤アルモ裁決ノ効力ニ影響ナシ
(大正十四年第百七號 昭和六年七月二十日宣告)

○收用土地細目公告後行政廳ノ許可ヲ得スシテ施設シタ

ル物件ノ損失補償

收用土地細目公告後行政廳ノ許可ヲ得シテ施設シタル收用地内ノ物件ニ付テハ損失補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

(大正十四年第百七號 昭和六年七月二十日宣告)

○町村道ノ認定處分ニ對スル行政訴訟

町村道ノ認定處分ニ對シテハ該處分ニ因リ権利ヲ傷害セラレタリトスル者ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス
(昭和五年第二百四十五號 同六年十月二十二日宣告)

○土地收用法第十八條及第十九條ニ於テ公告スヘキ土地細目ノ範圍

土地收用法第十八條及第十九條第一項ニ依リ起業者ニ於テ申請シ地方長官ニ於テ公告スヘキ土地ノ細目ハ必スシモ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナル土地ノ全部タルヲ要セス起業者

ス起業者カ現實ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ以テ足ルモノ内ルモノト解スヘキモノトス
(昭和六年十一月四日宣告)

〔判決理由〕 土地收用法第十八條ニハ「起業者カ内務大臣ノ認定ノ公告ノ後三箇年間ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ効力ヲ失フ」トアリ同法第十九條第一項ニハ「内務大臣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ」トアリテ起業者ニ於テ申請シ地方長官ニ於テ公告スヘキ土地ノ細目ハ必スシモ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナル土地ノ全部タルヲ要セス起業者カ現實ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ以テ足ルモノト解スヘキヲ以テ起業者カ申請シ地方長官カ公告シタル土地ノ細目カ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナル土地ノ全部

ナラサルノ故ヲ以テ内務大臣ノ事業認定ハ効力ヲ失ヒ又地
方長官ノ土地細目ノ公告ハ違法ナリトスルヲ得ス

○土地收用法第十二條ニ於ケル事業認定ノ意義及効力

土地收用法第十二條ニ所謂事業ノ認定トハ特別ノ事業カ同

法ニ依リ土地ノ收用又ハ使用ヲ爲シ得ル事業ニ該當スルヤ
否ヲ決定スルノ謂ニシテ同法第十四條ニ「内務大臣カ認定
ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類竝起業地ヲ公告スヘ
シ」トアルニ徵スルトキハ右認定ハ起業者及事業ノ種類竝

起業地ヲ特定スルノ効力ヲ有スルニ過キサルモノナルカ故

ニ之等ノ事實ニ變更ヲ來ササル限り工事設計ノ一部ヲ變更
シタルノ故ヲ以テ該事業認定更正ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
ルモノニ非ス
(昭和六年十二月四日宣告)

○事業認定後ニ於ケル工事設計等ノ一部變更ニ對スル認

可

土地收用法第十二條ノ事業認定アリタル後該認定ノ基礎タ
ル事業計畫書及圖面ノ工事設計ノ一部ヲ變更シタル場合ニ

監督官廳ノ認可ヲ要スルヤ否ヤハ土地收用法ニ關係ナキ別
個ノ問題ニシテ其ノ認可ノ有無ニ依リ土地收用手續ノ違法
ヲ來スモノニ非ス
(昭和六年十二月四日宣告)

○關係人ニ對スル通知又ハ協議ノ欠缺

起業者カ第三者タル土地收用法第五條ノ關係人ニ對シ通知
又ハ協議ヲ爲ササリシコトヲ以テ直ニ土地所有者ノ權利ヲ
傷害シタルモノト爲スコトヲ得ス
(昭和六年十二月四日宣告)

○收用審査會ニ於テ裁決ヲ爲ササル殘地補償ニ關スル行

政訴訟

土地ノ一部收用ニ付起業者ハ協議調ハサルモノトシテ收用
ノ裁決ヲ申請スルニ當リ殘地補償ニ付何等記載スル所ナク

土地所有者モ亦之ニ付收用審査會ニ對シ何等申立ヲ爲ササ

リシ場合ニ於テモ同會ニ於テ殘地補償ニ關スル裁決ヲ爲サ
サリシトキハ土地所有者ハ右裁決ニ對スル行政訴訟ニ於テ
殘地補償ニ付請求ヲ爲シ得ルモノト解スルヲ相當トシ此ノ
解釋ニ異ナル當裁判所ノ從來ノ判例(行政裁判所大正三年

七月二十八日宣告同年第五九號事件、同月二十九日宣告同年第一二四號事件、同十三年五月八日宣告同十二年第七號事件、同十五年十二月二十三日宣告同十一年第八二號事件等)ハ殘地ノ補償ニ關スル限り之ヲ變更スヘキモノトス

(昭和四年第二百二十九號)
(同六年十二月三日宣告)

〔原告主張〕被告ハ被告カ本件殘地ノ補償ニ付何等裁決スル所ナカリシハ原告カ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ノ提出ヲ爲ササリシニ因ルモノナルカ故ニ何等違法ニ非サル旨主張スルモ同法第四十三條第四十九條第五十四條ノ規定ニ徵シ被告ハ職權ヲ以テ收用ニ因ル殘地ノ補償ニ付調査シ裁決ヲ爲スヘキモノト云ハサルヘカラス……而シテ本件起業者ノ申請書中「最後ノ書面協議ニ對シテモ承諾ヲ得ル能ハス遂ニ協議不調ニ歸シタリ」トノ記載ト同申請書ニ添附ノ……協議書ヲ對照考覈スルトキハ土地所有者タル原告ニ於テ實質上異議ヲ申立ツルモノナルコトヲ確認シ得ヘキヲ以テ被告ハ其ノ爭點ヲ明確ニシ且申立ノ範圍ヲ確定スル爲メ土地收用法第四十三條ニ依リ職權調査ヲ行ヒ然ル後ニ

於テ裁決スヘキモノト云ハサルヘカラス然ルニ何等ノ調査ヲ爲サス從テ原告ノ申立ヲ看過シテ爲シタル本件裁決ハ違法ナリ

〔判決理由〕起業者ノ協議ニ對シテハ原告カ殘地ノ補償ヲ

求メタルコトヲ認メ得ルモ殘地ノ買收ヲ求メタルコトヲ認ムルヲ得サルノミナラス本件收用ニ關シ原告カ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサリシコトハ原告ノ争ハサル所ナルヲ以テ被告カ本件收用ノ裁決ニ於テ殘地ノ收用ニ付テ何等裁決スル所ナカリシハ違法ニ非ス然レトモ收用審査會カ土地ノ一部ノ收用ヲ裁決スル場合ニハ殘地補償ノ要否ハ起業者又ハ土地所有者若クハ關係人ノ申立ノ有無ヲ問ハス當然之ヲ調査シ裁決スヘキモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ(以下要旨同文)：從テ本件收用ニ因ル殘地ノ補償ニ關シテ起業者ニ於テ何等申立ツル所ナク原告ニ於テモ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セサリシノ故ヲ以テ被告カ同法第四十一條ニ依リ殘地ノ補償ニ付裁決スル所ナカリシハ違法ニ非サル旨ノ被告ノ主張ハ採用セス

〔参考〕

起業者及土地所有者ヨリ何等申立ヲ爲ササル損失ノ補償ニ付之カ裁決ヲ爲ササルハ當然ナリ

(大正十一年第八十二號)

〔判決理由〕原告ハ本件裁決ニ於テハ前示二十七筆ノ各土地ノ内一部ヲ收用セルニ拘ラス之力爲生スヘキ殘地價格ノ減額ニ付補償ヲ與ヘサルハ土地收用法第四十九條ニ違背セ

ル不當ノモノナリト主張スレトモ同法第四十一條ニ依レハ收用審査會ノ裁決ハ當事者ノ申立タル範圍ニ於テ之ヲ爲ス

ヘキモノニシテ右損失ノ補償ニ付テハ起業者ヨリ何等ノ申

立ナク原告ヨリモ意見書ノ提出ナカリシコト原告ノ争ハサ

ル所ナレハ被告ニ於テ之カ裁決ヲ爲ササリシハ當然ニシテ右主張ハ理由ナシ

○道路河川水路堤塘等ノ無願使用者ノ設ケタル工作物ノ撤去處分

道路河川水路堤塘等ノ管理者カ無願使用者ニ對シ其ノ上ニ設ケタル工作物ノ撤去ヲ命シタルハ違法ニアラス

法
令

(昭和五年第二百二十八號)
(同六年十二月十七日宣告)

○專用軌道敷設工事竣工期限伸長出願ニ對スル不許可

専用軌道敷設工事竣工期限ノ伸長出願ニ對シ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ由ルコトノ認ムヘキモノナキ場合ニ於テ之ヲ不許可シタルハ違法ニアラス

(昭和五年第二百二十八號)
(同六年十二月十七日宣告)

○道路法ニ依ル路線ノ認定處分ニ對シテ直ニ行政訴訟ヲ提起スルハ同法ノ認許セサル所ト解スルヲ相當トス

道路法ニ依ル路線ノ認定處分ニ對シテ直ニ行政訴訟ヲ提起スルハ同法ノ認許セサル所ト解スルヲ相當トス

(昭和六年十二月二十三日宣告)

〔判決理由〕道路法第五十八條ハ「本法又ハ本法ニ基キテ

發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ権利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行

政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」トアルヲ以テ同條ニ依ル行政訴訟ノ提起ハ権利毀損ヲ條件トスルモノナルコト明ナリ

然ルニ同法ニ依ル道路ノ路線認定處分ハ單ニ將來道路ト爲ルヘキ路線及其ノ種類ヲ定メ又ハ既設ノ道路ノ種類ヲ變更

スルニ止マリ道路ノ施設若ハ供用開始等ヲ爲スモノニ非サ
ルカ故ニ該處分ニ因リテ直ニ權利毀損ノ結果ヲ生スヘキニ
非ス從テ該處分ニ對シテ直ニ行政訴訟ヲ提起スルハ法ノ認
許セザル所ト解スルヲ相當トス

○先願後願ノ關係ヲ認定スヘキ條件

○競願ニ係ル數箇ノ出願ニ對スル許可ノ順序
競願ニ係ル數箇ノ出願カ何レモ適法ニシテ且各出願ノ間ニ
優劣ナキ場合ニハ例令法令ノ規定ナシトスルモ先願ヲ許可
スルヲ相當トス (昭和五年第百十號)

○競願ニ係ル數箇ノ出願ノ間ニ先願後願ノ關係ヲ認ムルニハ
出願カ直ニ許可セラレ得ヘキ狀態ノ下ニ爲サレタルモノナ
ルコトヲ要スヘキモノニ非ス (昭和五年第百十號)

〔判決理由〕原告ノ本件自動車營業ノ出願ハ昭和四年一月
三十一日競願タル訴外本橋顥一外一名ノ出願ハ同年三月二
十日被告ニ提出セラレタルモノナルコト右出願ハ何レモ其
ノ手續及內容カ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムヘキ事
由ナク且各出願ノ間ニ優劣ナキコトハ當事者間ニ爭ナキ所
ナルヲ以テ被告カ本橋顥一外一名ノ出願ヲ先願ナリトシ之
ヲ許可シタルハ相當ナリ原告ハ自動車營業ニ關シ先願者ニ
許可スヘキ法令ノ規定ナキ……旨主張スルモ競願ニ係ル數

箇ノ出願カ何レモ適法ニシテ且各出願ノ間ニ優劣ナキ場合
ニハ例令法令ノ規定ナシトスルモ先願ヲ許可スルヲ相當ト
ス

告カラ右出願ト後ニ爲サレタル原告並ニ鹿島參宮自動車合資會社トノ間ニ先願後願ノ關係ヲ認メ本橋額一外一名ノ出願ヲ以テ先願ト爲シタルハ相當ナリ

○鐵道省改良事務所長ノ名ヲ以テシタル裁決申請

鐵道省カ起業者ニシテ鐵道事業ノ爲ニ必要ナル土地ノ收用ニ付鐵道省改良事務所長ノ名ヲ以テ裁決ノ申請ヲ爲スハ違法ニ非ス
(昭和五年第三百五十二號)

(昭和七年三月二十九日宣告)

○起業者ヲ鐵道大臣ト表示シタル土地細目公告ノ効力

起業者カ鐵道省ナル場合ニ土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ事業認定並同法第十九條ノ規定ニ依ル土地細目公告ニ於テ起業者ヲ鐵道省ト表示セス鐵道大臣ト爲シタルハ違法ニ非ス
(昭和五年第三百五十二號)

○土地物件調書ノ作成要件並効力

起業者カ土地收用法第二十一條ニ依ル土地物件ノ調書ヲ作成スルニ當リ關係人ノ立會ヲ求メス且同調書ニハ關係人ノ所有スル物件並同人カ關係人ナルコトノ記載ヲ缺クモ土地

所有者タル原告ハ立會シ調書ニ捺印シ居リ原告ノ土地物件ニ關スル限ニ於テハ右調書ノ記載カ事實ニ符合スルモノナル以上右調書ハ原告ニ關スル限ニ於テハ有効ニシテ從テ同調書ニ基キ原告ニ對シ收用審査會カ爲シタル裁決ハ之ヲ無効ト爲スヘキニ非ス
(昭和五年第三百五十二號)

(昭和七年三月二十九日宣告)

○起業者カ關係人ヲ除外シ土地所有者ノミヲ被收用者トシタル申請ニ對シ收用審査會ノ爲シタル收用裁決ノ効力

起業者カ收用ノ裁決ヲ申請スルニ當リテ關係人ヲ除外シ土地所有者タル原告ノミヲ被收用者トシテ申請シ收用審査會ハ之ヲ是認シ原告ノミニ對シ收用ノ裁決ヲ爲スモ右裁決ハ原告ニ於テ右關係人ノ有スル借地權ニ對スル補償ヲ爲シ建物ヲ移轉シテ收用地ヲ起業者ニ引渡ス義務ヲ負擔セシムルノ効果ヲ生スヘキモノニ非ス
(昭和五年第三百五十二號)

(昭和七年三月二十九日宣告)

○收用殘地ノ價格利用等ノ認定

土地ノ一部ノ收用ニ因リテ殘地ノ價格ヲ減スルヤ否又ハ殘

地ヲ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルヤ否ハ必スン
モ土地臺帳記載ノ各筆ノ區域ヲ基礎トシテ定ムヘキモノニ
非スシテ土地臺帳ニ於テハ數筆ニ記載セラレアル土地ト雖
一體ヲ爲シ單一ノ經濟目的ニ供セラレアルモノト認ムヘキ

モノニ付テハ一體ヲ爲セル土地ノ區域ヲ基礎トシテ定ムル
ヲ相當トス

(昭和五年第三百五十二號)
(同七年三月二十九日宣告)

○收用審査會ノ裁決ト事實ニ吻合スル土地臺帳記載ノ地

番

建物臺帳ニ於ケル建物ノ存在地番ノ如何ニ拘ラス收用スヘ
キ土地カ實地ニ於テ土地臺帳記載ノ地番ニ符合スルモノナ
ル以上收用審査會カ土地臺帳記載ノ地番ヲ以テ收用スヘキ
土地ヲ表示シテ裁決ヲ爲シタルハ相當ナリ

(昭和五年第三百五十二號)
(同七年三月二十九日宣告)

○風致地區指定ニヨル不利益ト道路修築ニヨル受益

(昭和五年第六十三號)
(同七年四月二日宣告)

風致地區ノ指定ニヨリ假ニ不利益ヲ受クルコトアリトスル
モ之カ爲ニ道路ノ修築ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニアラ
ストナスヘキニアラス

(昭和六年第一百八十八號)
(同七年五月二十一日宣告)

〔判決理由〕案スルニ道路ノ修築ハ交通其ノ他一般ニ利益
ヲ生シ殊ニ其ノ道路ニ隣接セル或地域ノ土地ノ所有者竝其
ノ土地ト密接セル關係ヲ有スル者カ他ノ一般ノ者ニ比シ著
シク利益ヲ受クルコトハ普通ニ顯著ナル事例ナリ原告ハ本
件受益者負擔金ヲ課セラレタル地域ハ風致地區ニ指定セラ
レ所有權ノ行使ニ制限ヲ受クルカ爲ニ本件道路ノ修築ニ因
リ利益ヲ受クルコトナシト主張スルモノ道路ノ修築ト風致地
區ノ指定トハ別個ノ行政行爲ナルヲ以テ風致地區ノ指定ニ

○移轉工事中ノ借家費用ノ補償
建物ヲ全部移轉スルコトヲ要スルモノナル以上其ノ移轉工
事ノ期間中居住者カ臨時ニ他ニ借家スルニ因リテ生スヘキ

ヨリ假ニ不利益ヲ受クルコトアリトスルモ之カ爲ニ道路ノ修築ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニアラストナスヘキニアラス從テ東京市長カ都市計畫法並之ニ基ク法規ニ依リ原告ニ對シ受益者負擔金ヲ賦課シタルハ正當ナリ

○昭和四年内務省令第三十四號第四條ノ「其ノ事業費」

ノ計算方法

公共團體カ道路ノ工事費ニツキ寄附又ハ國庫補助ヲ受ケタルトキハ其ノ受ケタル額ヲ工事費ヨリ減シ之ヲ、昭和四年内務省令第三十四號第四條ノ「其ノ事業費」ノ額トナスヘキモノトス

(昭和六年第一百八十八號)

（同七年五月二十一日宣告）
國庫補助ヲ受ケタルトキハ公共團體ハ既ニ其ノ限度ニ於テハ工事費支辨ノタメノ收入調達ノ必要ナキニ至リタルモノナルヲ以テ公共團體カ都市計畫法第六條ニヨリ其ノ事業ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル者ヲシテ負擔セシメ得ル其ノ費用額全部ハ其ノ寄附並國庫補助金ノ限度ニ於テ減少シタルモノト爲ササルヘカラス然レハ昭和四年内務省令第三十四號第四條ニヨリ受益者ノ負擔スヘキ金額ヲ定ムル基本タル「其ノ事業費」ノ額モ其ノ事業ニ要シタル總額ヨリ其ノ工事費ニ對スル寄附並國庫補助額ヲ控除シタル殘額トナスヲ相當トス

〔判決理由〕都市計畫法第六條ハ公共團體ヲ統轄スル行政

増進

廳カ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テハ其ノ公共團體ハ費用ヲ支辨スヘク其ノ費用支辨ノタメニハ其ノ事業ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ

（同七年五月二十七日宣告）
道路鋪裝工事ニ因リ交通ノ利便ヲ增進スルトキハ沿道土地ノ利用價値カ著シク増進スルコトハ通常ノ状態ナリ
於テ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得ル旨ナリト解スヘク從テ公共團體カ其ノ工事費ニ對シ寄附並

ノ住民又ハ沿道土地ノ權利者ニ非スシテ特殊營業、沿道

土地ト都市トノ中権區域ヲ連結スル輸送機關其ノ發着地及地外偏在ノ地域ニ關係ヲ有スル者ノミニ過キス沿道土地ハ

却テ裏退シテ所謂間ノ町ト爲ルノミナラス沿道住民又ハ沿道土地ノ權利者ハ交通上又ハ衛生上其ノ他ニ於テ著シク權利ノ侵害ヲ受クルモノナリ……

〔判決理由〕道路ノ鋪装工事ニ因リ交通ノ利便ヲ増進スル

トキ沿道土地ノ利用價値カ著シク増進スルコトハ通常ノ状態ナリ而シテ原告主張ノ如キ諸種ノ弊害カ該工事ニ因リ或程度ニ於テ發生スルコトハ事實ナルモ斯クノ如キ弊害アルノ故ヲ以テ沿道土地ノ權利者ハ該工事ニ因リ利益ヲ受クル者ニ非スト爲スヲ得ス（同趣旨前出 昭和二年十二月二十二日 宣告大正十五年第31号事件別決）

○車道ノ鋪装工事費ト沿道土地權利者ノ負擔金トノ關係
道路法第三十九條ハ車道ニ關スル工事ノ費用ヲ除外スルモノニ非サルカ故ニ車道ノ鋪装工事ニ付沿道土地ノ權利者ニ負擔金ヲ賦課スヘキモノニ非スト云フヲ得ス

（昭和四年第百六十四號）

○土地收用法第二十一條ノ土地物件調書ノ記載事項ニ對スル土地所有者ノ異議

土地收用法第二十一條ノ土地物件調書作成後ハ土地所有者ハ同調書ノ記載事項ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得ス

（大正九年第二百二十三號）
（昭和七年六月十日宣告）

〔判決理由〕原告井上ハ同人所有ノ土地ハ地目烟トシテ收用セラレタルモ其ノ中十七歩ハ裁決申請前地目ノ變換ヲ爲シ宅地ト爲シタルモノナルヲ以テ被告カ之ヲ烟トシテ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ナリト主張スルモ右土地カ土地收用法第二十一條第二項ニ依リ作成シタル土地物件調書ニ烟ト記載セラレアルコトハ當事者間争ナキ所ニシテ同條第三項ニ依レハ土地所有者ハ調書ノ記載事項ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得サルヲ以テ右原告ノ主張ハ理由ナシ

○道路法第二十八條第一項ノ許可ノ法意

道路法第二十八條第一項ノ許可ハ單ニ占用權ヲ附與スルニ止マリ同條第四項ノ占用料ヲ徵收又ハ増徵セラレサル地位

ヲ占用者ニ附與スルモノニ非ス (昭和七年七月十三日宣告)

〔判決理由〕原告ハ道路管理者カ道路占用料徵收規程ノ制定又ハ其ノ改正ノ目前ノ道路占用ニ對シ占用料ヲ徵收シ又ハ增徵スル旨ノ規程ヲ設クルハ占用者ノ既得權ヲ侵害スルモノニシテ違法ナル旨主張スルモ道路法第二十八條第一項ノ許可ハ單ニ占用權ヲ附與スルニ止マリ同條第四項ノ占用料ヲ徵收セラレス又ハ一定限度以上ニ占用料ヲ増徵セラレサル地位ヲ占用者ニ附與スルモノニ非ス……故ニ原告ノ主張ハ失當ニシテ本件占用料徵收ノ處分及之ヲ是認シタル被告ノ裁決ハ違法ニ非ス

○道路法第二十八條第四項ノ占用料ノ徵收

道路法第二十八條第四項ノ占用料徵收ハニ管理ノ裁量

ニ委シタルモノト解スヘキモノトス

(昭和七年七月十三日宣告)

〔判決理由〕……同項本文ハ單ニ「管理者ハ道路ノ占用ニ付占用料ヲ徵收スルコトヲ得」ト規定スルニ止マリ占用料

徵收ノ時期ヲ制限セサルカ故ニ同法第五十二條ノ手續ヲ履践スルニ於テハ占用開始ト同時ニ之ヲ徵收スルモ開始後ニ於テ開始當時ヨリノ分ヲ徵收スルモ將タ又從來ノ占用ニ付増額追徵スル旨ノ規定ヲ設クルモ凡テ道路管理者ノ任意ナリト解ス

○土地收用法第五十一條第二項ニ基ク地上物件ノ收用請

求ト收用審査會ノ權限

都市計畫法第二十條第一項ニ依リ内務大臣カ收用ヲ裁定シタル土地ノ權利取得物件移轉ノ補償ニ付收用審査會ニ於テ裁決スルニ當リ地上物件ノ所有者カ土地收用法第五十一條第二項ニ基キ地上物件ノ移轉ニ代ヘ之カ收用ヲ請求シタル場合ニ於テハ收用審査會ニ於テ之ヲ裁決スヘキモノトス

(昭和六年七月十六日宣告)

〔判決理由〕被告ハ本件係争建物ノ收用ハ都市計畫法第二十條第一項ノ規定ニ依リ内務大臣ノ裁定ヲ求ムヘク收用審査會ニ於テ裁決スヘキ權利ヲ有セサル旨主張スルモ同條第一項及第二項ニハ土地又ハ建築物ノ權利ヲ取得スル爲其ノ

所有者及關係人ト協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコ

ト能ハサル場合ニ於テ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得ヘク收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得サル旨同條第三項ニハ損失補償ノ協議ニ關シテハ前二項ノ規定ヲ適用セサル旨規定シアリ而シテ土地收用法第五十一條ノ收用地上物件ノ移轉料又ハ該物件ノ收用ニ關スル規定ハ損失補償ニ關スルモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ地上物件ノ

所有者カ同條第二項ニ基キ地上物件ノ移轉ニ代ヘ之カ收用ヲ請求シタル場合ニ於テハ右都市計畫法第二十條第三項ニ依リ同條第一項及第二項ノ適用ナク同法第十八條第一項及土地收用法第三十五條ニ依リ收用審査會ニ於テ裁決スヘキモノト云ハサルヘカラス從テ右被告ノ主張ハ理由ナシ

○起業者ノ收用請求ナク所有者ノ收用請求ノ意見書ノ提
出モナキ物件ニ對スル裁決ノ要否

土地收用審査會ハ收用地上ニ在ル家屋ニ付起業者カ收用ヲ

ノ當否

請求セス所有者ヨリモ之カ收用請求ノ意見書ヲ提出セサル場合ニ於テハ右收用ニ付裁決ヲ爲ササルモノ違法ニ非ス

土地收用ノ裁決ニ於テ地上物件ノ移轉ニ關シ其ノ方法及場所ヲ指示セサルモノ違法ニ非ス
(昭和六年第八十號)

宣告同十三年第四號 事件判決

○地上物件ノ移轉方法及場所ヲ指示セサル土地收用裁決

書ヲ被告ニ提出セサリシコト當事者間争ナキ所ナルカ故ニ被告カ本件裁決ニ於テ係争家屋ノ收用ニ付何等裁決スル所ナカリシハ違法ニ非ス
(同趣旨前出 大正十四年三月三十一日

宣告同十三年第四號 事件判決

(昭和六年第八十號)

〔判決理由〕原告ハ本件裁決ニ於テ國府郡大字大塚字道祖

神八百十三番宅地所在地上物件ノ移轉地ヲ同地ニ接續セル

ス」トアル以上收用地ノ區域ヲ明示セサルモノト云フヲ得
ス（昭和六年第八十號）

南方ノ原告所有畠地ニ指定セシテ慢然移轉ヲ命シ之カ移

轉補償金ヲ定メタルハ違法ナリト主張スルモ地上物件ノ移

轉ニ關スル裁決ニ於テ移轉ノ方法及場所ヲ指示セサルモ違
法ニ非サルコトハ當裁判所ノ屢次判示セル所ノ如クナルヲ
以テ右主張ハ理由ナシ

○土地ノ一部收用ノ結果生シタル地形不整ノ殘地ト價格

ノ減少

宅地ノ一部收用ノ結果其ノ殘地カ收用地タル電車軌道ニ沿

ヒ且其地形不整ノ宅地ト爲ルトキハ右收用ノ爲從來ヨリ其

ノ價格ノ減少ヲ來タスモノト認ムルヲ相當トス

（昭和六年第八十號）

起業者カ收用ヲ申請シタル土地ノ區域カ内務大臣ノ認定シ
タル事業ニ必要ナルモノナリヤ否ハ土地收用法第二十五條
ニ依ル土地所有者又ハ關係人ノ意見書ノ有無ニ拘ラス收用
審查會ニ於テ當然審査シテ之カ裁決ヲ爲スヘキモノトス
（昭和五年三百四十六號）

（昭和七年十二月二十日宣告）

〔判決理由〕參加人ハ原告ハ土地收用法第二十五條ニ依ル
意見書ヲ提出セサリシヲ以テ被告カ參加人ノ申請ノ通り爲

シタル本件裁決ハ違法ニ非サル旨主張スルモ起業者カ收用
ヲ申請シタル土地ノ區域カ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必

要ナルモノナリヤ否ハ同條ニ依ル土地所有者又ハ關係人ノ

名地番地目及面積ヲ掲ケ且收用区域ヲ表示セル圖面ヲ添付

シアリ裁決ノ主文ニ於テ土地區域ヲ「起業者申請ノ通りト

参加人ノ主張ハ採用スルニ由ナシ(大正四年六月二十八日宣告)

同年第二十七號事件判決参照)

○内務大臣ノ認定事業ノ判定資料

内務大臣ノ認定シタル事業カ何ナリヤハ起業者ノ事業認定申請書ニ添附セル事業計畫書及圖面ニ依リ之ヲ判定スヘキモノトス (昭和五年第三百四十六號)

○起業者カ家屋其ノ他ノ工作物建設用地ヲ收用シ得ル要件

起業者カ家屋其ノ他工作物ヲ建設スル爲ニ要スル土地ヲ土地收用法ヲ適用シテ收用スルコトヲ得ルニハ該家屋其ノ他工作物ノ建設事業カ土地收用法第十二條ニ依ル内務大臣ノ認定ヲ受ケタルモノナルコトヲ要スルモノトス

(昭和五年第三百四十六號)

〔判決理由〕起業者カ家屋其ノ他工作物ヲ建設スル爲ニ要スル土地ヲ土地收用法ヲ適用シテ收用スルコトヲ得ルニハ該家屋其ノ他ノ建設事業カ同法第十二條ニ依ル内務大臣ノ

認定ヲ受ケタルモノナルコトヲ要スト解スヘキハ同法第一

條第二條及第十二條ノ法意ニ徴シ明瞭ニシテ……參加人カ

昭和四年八月十日内務大臣ノ認定ヲ受ケタル事業ハ愛知縣

北設樂郡三輪村ヨリ長野縣下伊那郡川路村ニ至ル鐵道線路

ノ建設並天龍峠停車場外ニ停車場及ニ停留場ノ建設ニシテ

而モ天龍峠停車場ノ用地二千七十四坪内ニ建設セラルヘキ

モノノ中ニハ舍宅、合宿所……等ヲ包含セス……然レハ參

加人カ係争土地ヲ收用スル必要アリト爲ス舍宅、合宿所……

等ノ建設事業ハ土地收用法第十二條ニ依ル内務大臣ノ認

定ヲ受ケタルモノニ非スト解スルヲ相當トス從テ參加人ハ

之等ノ建物ノ建設ニ必要ナリトシテ土地收用法ヲ適用シ係

争土地ノ收用ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得サルモノニシテ被

告カ參加人ノ申請ヲ認メテ係争土地ノ收用ノ裁決ヲ爲シタ

ルハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス

○土地收用法第二十三條第二項ノ通知欠缺ト裁決ノ當否

起業者カ土地所有者ニ對シ土地收用法第二十三條第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ爲サス之カ爲土地所有者カ意見書ヲ提出

スルヲ得サリシヲ看過シテ爲シタル收用審査會ノ裁決ハ違法ナレトモ斯ノ如キ場合ニ於テハ土地所有者ハ行政訴訟ニ於テ其ノ意見ヲ申立テ裁決ノ當否ヲ争フコトヲ得ルモノト解スヘキカ故ニ同條ニ依ル通知ナキノ故ノミヲ以テ裁決ヲ取消スヘキモノニ非ス（昭和五年三月四日宣告同四年第百四十

五號事件判決參照（昭和七年第十百四十二號）

○裁決書中損失補償金記載方

裁決書中ノ地上物件損失補償金見積書ニ於テ同一人ニ對スル別種ノ損失補償金ヲ各別ニ記載セス其ノ合計金額ヲ記載スルモ違法ニ非ス（昭和七年第十百四十二號）

損失ニ對スル補償金ノ合計金額ヲ記載シタルモノナルコト
原告ノ争ハサル所ニシテ而モ同一人ニ對スル各種ノ損失補償金ハ之ヲ各別ニ記載スルコトヲ要スル旨ノ何等規定ナキヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張モ亦之ヲ採用スルヲ得ス
○土地收用裁決申請書ノ收用時期ノ誤記力書損ナルコト

明ナル場合ト爾後ノ收用手續ノ當否

起業者ヨリ差出シ公衆ノ縱覽ニ供セラレタル土地收用裁決申請書ニ收用時期ノ誤記アルモ其ノ誤記カ書損ナルコトノ容易ニ看取シ得ヘキモノナルトキハ土地所有者ハ起業者ノ申請ニ對シ正當ナル意見ヲ申立ツルノ機會ヲ與ヘラレサリシモノト謂フコトヲ得ス又收用審査會ハ收用時期ノ明ナラサル申請ニ基キ若クハ公衆ノ縱覽ニ供セサル申請ニ基キ裁決ヲ爲シタルモノト謂フコトヲ得ス

〔判決理由〕原告ハ別種ノ損失ニ對スル補償金ハ假令同一人ニ歸スルモノト雖モ各別ニ其ノ損失額ヲ量定スヘキモノナルニ……地上物件損失補償金見積書中ニ門柱、植木其ノ他一切ノ

（昭和六年第二百十九號）

他一切ノ補償金五百圓ハ倉庫、營業、貸店舗、門柱、植木等各種ノ
補償金五百圓ハ倉庫、營業、貸店舗、門柱、植木等各種ノ